様式３（業務）

課　題　名：後代検定事業
担当部署名：畜産センター肉用牛研究所改良研究室
予算(期間)：県単（1952 年度～）

１．目的

本県銘柄牛「常陸牛」等の肉用牛生産のため、産肉能力の優れた種雄牛を造成し、凍結精液を安定的に供給することで和牛の改良を促進する。

直接検定で選抜した候補種雄牛を公益社団法人全国和牛登録協会(以下、全和という。)が定める和牛種雄牛産肉能力検定法により、現場後代検定を実施する。

２．方法

全和が定める和牛種雄牛産肉能力検定(現場後代検定法)に基づき実施した。

（１）検定場所　　畜産センター肉用牛研究所
全国農業協同組合連合会茨城県本部肉用牛哺育育成センター
民間農場

（２）供試牛頭数　15 頭以上/ １種雄牛

（３）出荷月齢　　去勢：29 か月齢未満、雌：32 か月齢未満
（弾力的な運用で、県の平均出荷月齢未満まで認められている）

３．結果の概要及び要約

（１）今年度現場後代検定を実施中の候補種雄牛は以下のとおり。
「稲乃大重」（久茂福－百合茂－美津福）2024 年 10 月終了
「夢美桜」（美国桜－勝忠平－牛若丸（長崎県））2025 年５月終了予定
「柴咲幸」（勝乃幸－安福久－平茂勝）2025 年 10 月終了予定
「那珂桜」（美国桜－百合茂－福之国）2026 年 10 月終了予定
「夢美関」（北国関７－美国桜－百合茂）2027 年５月終了予定

（２）今年度現場後代検定を終了した「稲乃大重」産子の枝肉成績及び格付成績は表のとおりで、特に、ロース芯面積、歩留基準値、脂肪交雑に優れた結果となった。

（３）「稲乃大重」については一般供用種雄牛として選抜された。

表　現場後代検定の結果概要

候　補 種雄牛	性別	頭数	と畜 月齢	検定 期間 (日)	枝肉 重量 (kg)	左半丸 枝肉 重量 (kg)	ロース 芯面積 (cm^2)	バラ 厚 (cm)	皮下 脂肪 厚 (cm)	歩留 基準 値 (%)	脂肪交雑	
											BMSNo	等級
稲乃 大重	全体	26	30.0	637.3	510	255	76	8.3	2.5	76.2	9.2	4.7
	去勢	16	30.0	641.6	529	265	81	8.5	2.0	77.2	9.5	4.8
	雌	10	29.9	630.5	478	240	67	8.1	3.2	74.7	8.8	4.6